

考える遊びをデザインする

さわい よしこ
沢井 佳子 (旧姓 加藤) (駒29)



しまじろうの仲間と沢井佳子



人気者のガチャピンとムック、しまじろうと共に長く歩んで来られた沢井佳子さんにご寄稿いただきました。

駒場松桜会報

第113号

2024年4月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話から住所
変更ができます。



住所変更専用
QRコード

プロの5歳児

「考える遊び」をデザインする仕事を続けて、はや40年が経ちました。大学で発達心理学や学習心理学などを教えながら、私は幼児教育番組『ひらけ！ポンキッキ』（フジテレビ）の制作や、幼児教育番組『しまじろうのわお！』（テレビ東京）の監修に携わってきました。映像のほか、絵本やワークブック、ハッピーセットの玩具（日本マクドナルド）等々の監修、そして、デジタルアプリケーションなどの視聴覚コンテンツを開発する仕事も続けています。今年51歳になるガチャピンとムックは元同僚であり、36歳のしまじろうは、今も一緒に働く同僚です。人間ばなれた彼らは子ども達に人気で、「学友キャラクター」としてベテランですが、

ガチャピンとムック



©ガチャムク

精神年齢はずっと5歳のまま。同様に私も、仕事仲間から「プロの5歳児」と呼ばれています。永らく童心を保ち続けて働いた末、老成でなくなつた私の、少々変わった仕事をご紹介するために、先日の海外出張のニュースをご報告します。

『しまじろうのわお！』とトロフィー

今年1月10日に、私はホーチミン市へ飛びました。『しまじろうのわお！』が、第28回アジアテレビ賞のプリスクール部門にノミネートされ、授賞式に招待されての出張でした。アジアテレビ賞は、毎年アジアの主要都市で開催され、今年はベトナムのホアビン劇場で授賞式と盛大なコンサートが催されたのです。華やかなライトが照らすステージで、「プリスクール部門の最優秀賞は…」と読み上げられた名前は「Shimajiro: A World of WOW」という、私たちの番組名でした。舞台のスクリーンには、生物多様性（いきもの・いろいろ）をテーマにした本番組のハイライトが映写されました。絶滅危惧種のオオサンショウウオやアユモドキが、実写・アニメ・歌で登場する映

像です。12年前にこの番組を立ち上げた時、私たちは「いのち」をテーマにすえました。「いのち」は「Life」という言葉が表す、生命・生活・人生を映像で語るようになってから、しまじろうは、国際エミー賞にノミネートされ、日本賞の優秀賞にも恵まれたのです。そして、今回のアジアテレビ賞の再受賞となりました。

番組の代表者としてベネッセの女性スタッフが、しまじろうのパペットを抱えてステージに上がり、トロフィーを受け取るのを見上げた時、私は、「暗いコロナ禍のトンネルを抜けて、いのちの多様性を子どもに伝える意義が、讃えられたのだ」と感じました。

華やかな授賞式の後、ホテルで夜11時半から2時まで夕食会が開かれました。それも二日にわたって2時までの夜更かしです。各国の歌手や俳優も、観客の黄色い歓声から解放されて夕食会に集い、寛いだ国際交流が始まりました。その時、スラリとした台湾の女優Yan Xiao-junさんがやって来て、「私は子ども達の頃から、巧虎（チャオフー）しまじろうが大好きなんです。チャオフーと一緒に学びました！」と嬉しそうに話してくれました。かつて私は、上海にあるベネッセのオフィスへ通い、巧虎の映像を制作する中国人スタッフらと、論理的思考を育むコンテンツを開発してい

考えることについて考える

思えば、ベトナム戦争最後の75年、サイゴン陥落は、私が駒場高校に在学中の出来事でした。70年代は遠くなりけりですが、高校時代は、つい昨年のことのように思い出されます。二年は地理の由井蘭先生(8H)、三年は数学の小沢先生(5H)が担任の先生でしたが、社会科研究室が私にとっての職

場したので、しまじろうに愛着を抱く子どもたちが、アジア諸国のあちこちに居ることは想像していません。そして今回、彼らが魅力的な大人となって活躍している例を、ホーチミン市(旧サイゴン)で確かめることができましたのです。しまじろうのコンテンツを通して、日本や周辺諸国の子とも達が、同じ価値を共有し、確かな平和が築かれますようにと願う、サイゴンの夜でした。



アジアテレビ賞 授賞パーティーで
(左から 台湾女優のYan Xiao-Junさん、
Benesseのスタッフ 安野さん、沢井佳子)

沢井佳子氏 プロフィール

(一社)日本こども育成協会 理事。チャイルド・ラボ 所長。認知発達支援と視聴覚教育コンテンツ開発が専門。お茶の水女子大学大学院修了。専攻は発達心理学、認知科学。『ひらけ!ポンキッキ』(フジテレビ)の心理学スタッフ、お茶の水女子大学大学院研究員、静岡大学情報学部客員教授などを歴任。幼児教養番組『しまじろうのわお!』(テレ東系列)監修。『こどもちゃれんじ』(ベネッセ)「考える力」プログラム監修。ハッピーセット玩具の監修(日本マクドナルド)。編著書に『6歳までの子育て大全』(アチーブメント出版)ほか、監修した出版物は多数。日本子ども学会常任理事。人工知能学会「コモンセンスと感情研究会」幹事。みんなのケア情報学会理事。BPO(放送倫理と番組向上機構)青少年委員会委員。

員室で、菱刈先生や工藤先生らの自由闊達な議論が刺激的でした。クラブ活動はKMC(※1)で、いつも合唱のハーモニーに浸っていました。藝術の教養とスポーツの技能に優れた友人達が、身近に何人も居たことが、駒場高校の素晴らしさでした。美術・音楽・文学の世界にも魅かれたのですが、小さい時から「考えることについて考える」のが好きであった私は、次第に心理学を学びたいと考え、学習院大学文学部心理学科に学校推薦で入学しました。そのお蔭で18歳から、発達心理学者ピアジェの「子どもの数概念」を解説する論文に出逢い、「認知の発達」考える力の発達」の研究を志すようになったのです。卒論を提出したばかりの四年生の年の瀬に、「発達心理学を学ばなら、お茶大の大学院へ行つ

てみたら？」と教授から助言されましたので、翌春にお茶の水女子大学大学院に入学しました。そこから「主體的に情報を処理する能力を育て、質の良い知的構造の形成と深化をめざす」という番組の『ひらけ!ポンキッキ』の門に入り、人工知能やXR(※2)を用いた視聴覚メディアの開発に至るまで、私はコンテンツ開発の道を歩き続けています。メディアにおいても、社会システムにおいても、子どもの発達の順序を考慮し、よりよい育成環境をデザインしてゆることが、今の私の目標です。若い十代の方々と、いろいろな年齢の子ともと遊んで、子どもの考え方について考えてごらんになることをおすすめいたします。

(※1 KMCは90年代に合唱部から軽音楽部になりました)
(※2 クロスリアリティのこと)

新入会員から

駒76-2ホーム

中村 瑠月



のように感じました。

2学年の秋、沖縄には行けないと先生に謝られた際は、誰も悪くないからこそ非常に苦しかったですが、先生方が何度も話し合いと検討を繰り返してくださり、関西地方への修学旅行が実現しました。船からの夜景、類の落ちるような食事、清水寺から見下ろす紅葉と街並みはおそらく一生忘れることはないと思います。我々がマスク無しの生活とコロナ禍以前の状態の体育祭や文化祭を味わえたのは1回きりですが、だからこそ1回が何にも替えられない貴重な思い出となりました。

この厳しい状況の中で、私たちの高校生活を支えてくださった先生方、家族、そしてみんなに会うために学校に來たいと思える居場所を作ってくれた駒76のみんなに心から感謝します。

駒76-6ホーム

緒方 共慈



入学直後の休校期間を振り返ると、この3年間で環境の変化に改めて驚かれます。制限や行事に全力で打ち込むことができた喜び。一方、途切れてしまった伝統の再構築には次々と壁が立ちました。3年の都駒祭では、一般公開に向けて著作権やプライバシーに関する厳

しい制約が突如加わり、対応に苦しみました。私がそれらの問題と最後まで向き合い続けることができたのは、様々な場面で同じように悩み、闘い続ける仲間が存在が大きな支えとなったからだと感じます。幾多の壁を乗り越え、全員で一つのものを作り上げた瞬間の達成感は決して忘れられません。

駒場での生活を通じ、仲間と共に過ごす制限のない日常の貴重さを強く実感しました。私達の日常を支えてくださる方々に日々感謝し、今後新たな壁に挑戦し続けていきたいです。

駒76-保体科

青木 ひなた



駒場高校で過ごした3年間は私にとって最も濃密な時間でした。私たちは、コロナの影響で入学してすぐに休校となり、その後も部活動や行事など多くの場面で制限を受けてきました。また、上下関係の厳しさや学業と部活の両立の難しさなどたくさんの試練にぶつかりました。厳しい生活の中で、様々な試練を乗り越えることができたのは仲間がいたからです。仲間と共に支え合い、高め合いながら過ごす時間は私の人生で最も心に残る思い出です。また、コロナ禍でも保健体育科ならではの実習を行うことができたこと、本当に感謝しています。特に3年次の実技発表会では、4年ぶりに有観客での開催となり、4階までいっぱいに埋まっている体育館でドキドキしながら全員で踊り切ることが出来ました。あの時の達成感は今でも忘れられません。

駒場高校で過ごした時間は、私にとって最高の思い出です。ありがとうございました。

♪♪ 2023 年度 駒場松桜会コンサート報告 ♪♪



前日の暖かさとはうってかわり寒い日でしたが、会場は今日の演奏会を楽しみにいらした皆さんの熱気が漂っていました。

駒15の北川曉子さんは現在も東京藝術大学の名誉教授であり、現役で活躍なさっていると思います。

定刻に始まったコンサートは、まず馬淵松桜会理事長の挨拶があり、会場の皆さんの期待を代弁するものでした。

落ち着いた緑色が基調のドレスをまとわれた北川さんは、着座するとすぐに演奏を始められました。

ポロネーズ第6番を一気に弾かれます。温かくも力強い音色は、会場のすみずみまで響き、聴いている人の心に届きます。やっぱりショパンはすてきなと改めて感じました。いえ、すてきに聴かせてくださる北川さんがすごいのです。

休憩のあとは、ラヴェルの「道化師の朝の歌」。私も好きな曲なので聴き入っています。ひとつひとつの音が立って踊り出し、透明な響きにうっとりとしてしまいました。

最後はアルベニスの組曲『イベリア』より、「トウリアーナ」と「エリターニャ」の2曲。初めて聴く曲ですが、スペインの香りが漂い、オーケストラのように聴こえる豊かな響きに圧倒されました。

大きな拍手のあとのア

ンコール曲は、ショパンのノクターン第2番作品番号9-2とワルツ第5番作品番号42でした。どちらも演奏会がそのままと続けばよいのにと思う、すてきな演奏でした。

時間が経つのがこんなにも早いのかと思う演奏会で、また、私よりも10歳以上先輩とはとても思えぬ力強い、みずみずしい音色に圧倒され、こうやってまとめてみると、すごい方の演奏だったのだと改めて感じ入ります。

北川さんの今後のさらなる活躍を願いますとともに、ますますのご健勝を祈念いたします。また、松桜会コンサートで演奏していただきたいと願うのはぜいたくでしょう。

角田やよい(駒29)

次回「松桜会コンサート」の予定

2024年11月30日(土)

於 東京オペラシティ
リサイタルホール

松桜会活動についてのお知らせ

都駒祭について

コロナ禍に対応しつつ、母校では9月9日(土)・10日(日)に開催されました。

松桜会は仰光寮を公開することで参加しました。老朽化が進んでおり、1階のみを公開しましたが、2日間で234名の来場者がありました。

◆松桜会コンサート 出演者募集!

2024年11月30日(土)午後2時より、東京オペラシティリサイタルホールにて松桜会コンサートを開催する予定です。

つきましては、出演ご希望の方を募集いたします。ご希望の方は五月底までに松桜会事務局までお問い合わせください。

尚、コンサート開催に際しましては、本年も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、入場者数を制限するなど適宜対策を講じてまいります。

詳細が決まりましたらホームページに掲載し、次号会報でもお知らせいたします。

「同窓の集い」について

大変残念ですが、今年度も開催を見合わせることにいたします。

「コチロン」について

「コチロンを踊る会」の例会は、引き続き休会とします。再開する際はホームページ・会報でお知らせいたします。

松桜会事務局からの

お知らせとお願い

い寄付のお願い

松桜会では1口千円からのご寄付を受け付けています。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

住所変更届のお願い

転居の際は新住所のご連絡をお願いいたします。本紙1頁にあるQRコード、またはホームページから手続きできます。

駒場松桜会活動の運営に参加しませんか

「一般財団法人 東京都立駒場高等学校同窓会・駒場松桜会」は府立第三高等女学校および都立駒場高等学校の同窓会として長い歴史をもち、会員の皆さまのご協力のもと様々な活動を行っています。しかし、現在この活動の企画・運営スタッフが不足しており、松桜会では運営に参加して下さる方を探しています。先輩や後輩との交流の機会が得られ、母校の発展に寄与する—そのような同窓会活動にご興味はありませんか。

まずは松桜会の活動について改めて皆さまにご紹介します。

▼会報封入作業



41回生の7名からなる広報部が担当しています。会報の封入作業は、同窓生によるボランティアの皆さまにご協力いただいています。

◆同窓会会報の発行

年2回、4月と9月に同窓会会報を発行し、現在約1万8千名の会員の皆さまにお送りしています。会報には社会の様々な分野で活動する同窓生を紹介する記事や母校生徒の活躍、コンサート、松桜会講座のお知らせなどを掲載しています。会報の企画・編集は、駒16回生から駒

◆同窓の集い開催

6月の同窓会総会と同日に同窓の集いを開催し、学年を超えた同窓生の親交を深める取り組みを行っています。コロナ禍で3年ほど開催を中止していますが、今後同窓生が集う機会を再び設けることを検討しています。

◆母校への支援

毎年母校に助成金50万円を贈呈するほか、全国大会に出場する生徒や海外短期語学研修制度への支援を行っています。

▼講座部スタッフ



講座部が担当していますが、今後講座を継続していくために新たなスタッフを切に求めています。

◆松桜会講座の開催

同窓生を講師に迎えた様々な分野に関する学習講座(令和5年度下期は「万葉集」と神話全2回、人気の路地めぐり(令和5年度下期は「JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐりⅣ―浅草橋・両国駅―全2回)、歌舞伎や文楽の観劇講座などを開催しています。講座の企画・運営は、駒5回生から駒27回生の6名からなる

◆都駒祭への参加

9月に開催される都駒祭では仰光寮を公開し、在校生に同窓会の歴史や活動を紹介しています。



▲仰光寮公開時

◆同窓生データの管理

同窓会会報を送付する目的で会員の皆さまの連絡先を管理しています。転居の際には事務局までご連絡下さい。個人情報管理には細心の注意を払っています。

◆松桜会コンサートの開催

11月に東京オペラシティリサイタルホールで、プロの音楽家として活動する同窓生を出演者に迎えコンサートを開催しています(令和5年度は「北川曉子ピアノリサイタル」を開催)。

◆コチロンを踊る会

コチロンは府立第三高女の時代から平成元年ごろまで駒場高校の体育の授業で実施されていたダンスで、今も松桜会会員によって踊り継がれています。練習会はコロナ下で休止中ですが、休止前は同窓の集いや都駒祭でデモンストレーションを行ってきました。月1回の練習会再開を検討中です。



コチロンは府立第三高女の時代から平成元年ごろまで駒場高校の体育の授業で実施されていたダンスで、今も松桜会会員によって踊り継がれています。練習会はコロナ下で休止中ですが、休止前は同窓の集いや都駒祭でデモンストレーションを行ってきました。月1回の練習会再開を検討中です。

◆松桜会役員について

現在、松桜会は9名で構成される評議員会、12名で構成される理事会を設置しています。評議員会は、法人の業務が法令や定款に基づき適正に行われているかを監視する役割を担い、理事会は事業の企画・運営を行い、業務の執行に当たっています。3名の監事は、松桜会の業務と財産の状況を監査しています。詳細についてはホームページ掲載の定款をご覧ください。

◆同窓会費について

同窓会の活動は皆さまに納めていただく年会費で運営しています。年会費は1000円ですが、まとめてお納めいただくこともできます。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また年度中に80歳を迎える学年から年会費は免除されます。本年度は駒15回から上の学年が対象です。

◆事務局について

母校東館に置かれた事務局には4名の理事が在籍しており、先にご紹介した事業運営上の諸事務にあたり、実質的作業を行っています。

◆お手伝いのお願い

冒頭で述べた通り、会報の企画・編集や封入作業、松桜会講座やコンサートの企画・運営など、松桜会活動をスタッフとしてお手伝い下さる方を探しています。ご興味のある方は松桜会事務局までお問い合わせください。事務局は毎週月曜日(祝日の場合は翌日の火曜日)の10時半から16時半まで業務を行っています。

母校生徒の活躍 (1月現在)

◎女子バスケットボール部

・全国高校選手権東京都2次予選
第7位

◎女子バレーボール部

・春季大会兼関東大会東京都予選
第11位 (関東大会出場)

・高校総体兼国体東京都予選ベスト16

・全日本高校選手権東京都予選ベスト16

◎サッカー部

・高校サッカー選手権東京都予選
Aブロックベスト16

◎水泳部

・東京都高校選手権水泳競技大会
男子 50m自由形第5位

男子 100m自由形第8位

男子 100m背泳ぎ第2位

男子 200m背泳ぎ第7位

男子 100mバタフライ第4位

男子 400mフリースタイル第2位

男子 800mフリースタイル第7位

男子 400mメドレーリレー第3位

男子 400mフリースタイル第7位

(以上 関東大会出場)

・関東高校選手権水泳競技大会

男子 50m自由形第10位

男子 100m背泳ぎ第4位

男子 100mバタフライ第8位

(以上 全国大会出場)

・鹿児島国体水泳競技大会

男子 50m自由形第7位

男子 400mフリースタイル第2位

◎体操競技部

・高校総体兼国体東京都予選
女子 団体総合第4位

・全日本ジュニア体操競技選手権大会
男子 跳馬第3位

◎陸上競技部

・関東高校陸上競技大会
男子 走高跳第4位

女子 七種競技第2位

(以上 全国大会出場)

・高校総体陸上競技大会

女子 七種競技第12位

・U18陸上競技大会

男子 走高跳第9位

・U20日本陸上競技大会

女子 走幅跳第14位

◎男子硬式テニス部

・東京都立高校テニス選手権大会
団体準優勝

個人 ダブルス準優勝 第3位

シングルス 第5位

◎剣道部

・全国高校剣道大会東京都予選
男子ベスト32 女子ベスト16

◎駒場フィルハーモニーオーケストラ部

・全国高校総合文化祭2023 出場

◎新聞局

・東京都高校新聞コンクール 準優秀賞

◎KMC

・MUSIC DAYS 2023

・Summery of Youth

2023 オーディエンス賞

これからも母校生徒の応援を
よろしく願っています！

馬淵理事長からのご挨拶

令和6年能登半島地震に被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。松桜会では、石川県に4名、富山県に9名の同窓生の方がお住まいと把握しています。落ち着いた生活を一日も早く取り戻されますよう、お祈りいたしております。

松桜会の人気講座「身近な最新の法律問題」の講師を5回も務めていただいた寶金敏明氏(駒17)が1月15日に逝去されました。昨年7月、闘病中の寶金さんから届いた最後のメールは、いつも明るく笑顔を絶やさない寶金さんらしくて、心に沁みています。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

2024年1月末日現在

2023年7月以降本年1月末日までに46名と一団体の皆さまから合計40万2千円のご寄付をいただきました。

皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

駒2	時岡	みどり
駒3	三澤	眞砂代
駒4	幸蓉	子
駒4	早間	玲子
駒5	宇田川	典子
駒5	名取	英子
駒6	望月	廣子
駒7	小森	朝子
駒7	小松	榮子
駒7	宮之原	厚子
駒7	有村	喜久子
駒8	池田	茂昭
駒8	渡邊	佳鶴子

寄付者芳名

駒8	小野	眞由美
駒9	山口	千恵子
駒10	笠井	八重
駒10	三上	眞喜子
駒12	栗崎	富紀子
駒12	榎藤	洋子
駒12	関口	祥子
駒12	長島	弘毅
駒13	横山	輝子
駒13	若林	平太
駒13	坂田	歌子
駒14	米田	貴子
駒14	濱田	勝子
駒14	笠井	武久
駒14	浅川	邦子
駒14	北川	三枝子
駒14	辻井	喜久子
駒15	匿名5名	
駒15	森	美南子
駒15	渋谷	道子
駒17	石井	康智
駒17	高梨	阿佐子
駒17	匿名3名	
駒21	松浦	隆志
駒23	関	啓子
駒43	匿名1名	
駒55	川井	真央
駒4	同期会	

訃報

安孫子 友行先生(体育)
(2023年12月29日)
かつて松桜会に多額のご寄付を
いただきました

藤井 チズ子様(駒3)

(2024年2月20日)

駒場幼稚園理事長として23年間
ご尽力されました

謹んでご冥福をお祈りいたします

松桜会監事 山根勉(駒17) 合掌

追悼
寶金 敏明君 永遠に！
寶金君は石川県出身、高校同クラスになって早60年もの長きに渡って親しく付き合ってくれた友人であり、また恩人でもあった。
彼は中央大学法学部在学中に弁護士試験を突破した後、長きに渡り検事として数々の要職に就き(東京法務局時には、庁舎が私の務め先とすぐ近くにあり、よく彼の大部屋に伺い邪魔をしていた)、後年は弁護士として活躍されてきた。憲法の大家の宮沢俊義が法理論者であれば、彼は諸法律を正道に導いた法行使者であったと思う。小生から見たら神様

松桜会講座のお知らせ(令和6年度上期)

4/15(月) 締切(必着)

対象者: 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法: 往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員一卒業回 教職員一所属 PTA会員一お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先: 〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (-財)駒場松桜会事務局

☆申込後のキャンセルは、開講日の2週間前からは受講料をいただきますことをご了承ください。

A講座

講師 荻原 千鶴
(駒22)

現在、お茶の水女子大学名誉教授。主な著書に『日本古代の神話と文学』『出雲国風土記 全訳注』など。大阪府高齢者大学校講師・島根県奥出雲町特別顧問なども務める。

日本古典文学と「橋」

「橋(はし)」とは何か。高天原から地上に降臨する神が「天の浮橋」を経由する(『古事記』『日本書紀』)のはなぜか。大橋を渡る女性に空想を繰り広げる高橋虫麻呂の歌(『万葉集』)において、橋はどのように機能しているのか。『源氏物語』の最終帖名、「夢の浮橋」とはどのようなイメージの集約なのか。日本古典文学の中に登場する「橋」の姿を探ってゆくと、そこには日本の地勢・風土、日本文学の発想、表現上の修辞など、さまざまな事柄についてその特質が浮かび上がってくる。「宇治橋」「瀬田橋」など著名な橋についても取り上げ、その果たす文学的役割についても考えたい。

第1回 日本古代文学における橋

第2回 平安時代以降の文学における橋

6/15(土)・6/29(土)
10:30~13:00

定員: 30名

受講料: 2,000円

会場: 母校東館和室

B講座

企画

講座部会

JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐりⅣ —錦糸町・亀戸駅—

1. 錦糸町駅から: 下町風情の繁華街・錦糸町から、巨大目標・東京スカイツリーへと歩く。
2. 亀戸駅(江戸の東の外れ)から: 北側に伸びる静かな寺町—学問の神様「亀戸天神」や武道・スポーツの神様「香取神社」を祀る文武コースを歩く。

5/25(土)・6/22(土)
10:00 駅出発
12:00 解散予定

諸般の情勢により、日程の変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

定員: 30名

受講料: 1,500円

(含 資料代、保険料)

参加者の声

「JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐりⅣ」に参加して

「なんでもっと早く参加しなかったんだろう」これが私の初参加の感想です。お知らせを見るたび気にはなりながら、仕事も忙しいし…なんて言いつて参加しなくて本当にもったいなかったです。

今回の2日間のコースは、隅田川を挟んだ西岸と東岸をそれぞれ回るといったものでした。一回が2時間で10kmほど。ホノールのハーフマラソンに参加しなくても、都内で同じ距離を楽しく歩けるものですね。

西側の間屋街では、ちょっと変わった専門店を見つけては驚きの声を上げ、東側の相模部屋では「一階が道場、上は瀟洒なマンション」という現代の住宅事情に「今どきだね」とみんなで苦笑。隅田川の辺りは関東大震災や東京大空襲で大きな被害を受けた地でもあり、個人的には当時を記録した東京都復興記念館の展示が胸に迫りました。

参加者には、私のような歴史好きの他、神社仏閣好き、一歩歩きたい方、素敵な写真を撮りたい方、街なかの植物や鳥の名前を調べる方など色々いらっしゃいました。この企画は、同じ街を歩きながら様々な楽しめる場なのだと思います。

たった2時間でもこんなに楽しめるなんて! バタバタの日常を離れて、いい気分転換になりました。主催の方々、一緒に下さった皆さん、ありがとうございました。私のようにこの企画が気になっていた方、絶対おすすめです。

平澤 美香(旧姓 深澤)(駒37)

「万葉集と神話」を受講して

ウン十年前、駒場高校音楽科生だった私は、日がな脇目も振らず楽器を弾きまくり、一般教養にいたってはどくどく吹く風といった態度でした。時を経て、精神的にも余裕ができて、さて、「おもしろき」知識を得て豊かな暮らしをしようかなと考えた時には、実は自分になにも蓄積が無いことが分かりました。そんな折り、松桜会会報を手にし、荻原千鶴さんの講座募集を知りました。駒22、私と同期生の荻原さんならきっと楽しいことが学べるに違いないと、久しぶりに駒場東大前駅に降り立ちました。なんとあの単純な学校への道をまちがえるという馬鹿をしながらも着いた校舎、もちろん私が学んだ建物ではなかったですが、ほっとした気分になりました。この安心感は何なのでしょう。

荻原先生の講義はとても具体的に解りやすく、深いもの。世の中には複雑なものを難しく語る先生は多いですが、深いものを易しくおもしろくひもとく荻原先生は、やはり駒場生の真骨頂だと感じました。私自身は、生活の中でふと、万葉集の枕詞が口から飛び出すような生活になりました。

私は音楽科という特別な環境で学びましたが、本当に「普通科」「保体科」「芸術科」と様々な専門の生徒のいる高校です。ここで幸せ者でありました。

聞くところによりますと、荻原先生の松桜会講座は続編があるようです。今から楽しみです。

磯村 叙子(駒22音楽科)